

日商プログラミング

社会人に必須の論理的思考力や問題解決力の向上に役立つ他、情報技術（IT）の基盤となるプログラミングスキルの学習により生産性向上を具現化するデジタル利活用を高める検定試験です。

EXPERT	(言語) C言語、Java、VBA、Python プログラマーとしての基本能力を問う (IT企業における人材ニーズを反映、IT企業における人材育成、採用要件で活用) 仕様書を読んでソフトウェアの一部が作成できる
STANDARD	(言語) C言語、Java、VBA、Python 高校・大学・専門学校等でのプログラミング学習の習得度を問う (教育機関での学習内容を反映) 企業においてIT化を先導できる、プログラミングに関する基本知識・スキルを習得している
BASIC	言語によらない プログラミングに関するITの基本知識、簡単なアルゴリズムについて問う (プログラミング学習の基本) 企業人の素養として求められる、プログラミングの基本知識を習得している
ENTRY	(言語) Scratch (※1) (Scratch3.0対応) 初心者向けに、ビジュアル言語「Scratch」による簡単なプログラミングおよびプログラミング的思考を問う (初学者向け教育で活用) プログラミングの「学び方」を学んでいる

- 効果**
- ITの土台となるプログラミングを学ぶことで、ITを理解し、使いこなす力が身につく
 - AI(人工知能)をはじめとした、最先端技術の基本的な仕組みを理解できる
 - プログラミングを行う過程で、論理的に考える力が身につく
 - 問題点を発見するだけでなく、原因を追求し、解決する能力が養われる



販売士 (リテールマーケティング)

企業活動で重要となるマーケティングを中心とした知識が学べる試験です。流通・小売の仕事に理解が深まることからメーカーなどでも採用・活用されています。合格者には「販売士」の称号が付与され、資格更新(5年ごと)により「販売士」資格を継続できます。

1級	経営に関する極めて高度な知識を身につけ、商品計画からマーケティング、経営計画の立案や財務予測等の経営管理について適切な判断ができる。マーケティングの責任者やコンサルタントとして戦略的に企業経営に関わる人材を目指す。
2級	マーケティング、マーチャンダイジングをはじめとする流通・小売業における高度な専門知識を身につけている。販売促進の企画・実行をリードし、店舗・売場を包括的にマネジメントする人材を目指す。幹部・管理職への昇進条件として活用しているところもある。
3級	マーケティングの基本的な考え方や流通・小売業に必要な基礎知識・技能を理解している。接客や売場づくりなど、販売担当として必要な知識・技術を身につけた人材を目指す。流通・小売業に限らず、BtoCの観点から社員教育に取り入れている卸売業や製造業もある。

- 効果**
- 接客に関する基礎知識が身につく
 - 取扱商品に関する専門知識が身につく
 - 売場や店舗を管理する能力が身につく
 - 経済の動き全体からみた店舗経営が身につく

詳しくはコチラ!



Voice 資格取得者の声



ぜひ資格を取得して、数字に強い社会人になりましょう。

40代 経営者

- Q** いつ頃から簿記の勉強を始めたのですか？
- A** 簿記の学習を本格的に始めたのは、社会人になってからです。大学で経営学部だったのですが、学生時代はざっくり勉強していた程度でした。
- Q** なぜ簿記の勉強を始めたのですか？
- A** 卒業後入社した会社で仕事を進めていく中で、「財務諸表を理解できていないと話にならない」と痛感したことがきっかけです。勉強を始め知識をつけるにつれて、「損益計算書」や「貸借対照表」を読むことができるようになり、社内でお金がどう回っているかを理解することができるようになりました。
- Q** 簿記資格を取得したことが、仕事にどのように活かえていますか？
- A** まず私からお伝えしたいのは、簿記は非常にコスパのいい資格だということです。わたしはその後独立しましたが、事業を企画する際にも数字に裏打ちされた計画を作成することができたため、起業時の事業計画書作成においても非常に役立ちました。言葉のひびきに惹かれてマーケティングなどを勉強するよりも、経営者にとって簿記を勉強することが、生産性を考えても必須だと思います。また、先ほど述べましたが、簿記の知識を理解することで社内のお金の流れを理解することができます。これは社会人として企業で働くうえで必要な基礎知識だと思っています。



政府は新しい資本主義の実現に向けて、リスキリングなどの「人への投資」に「5年で1兆円」を投入する方針のもと、リスキリングを進める個人や企業への助成を拡充しています。企業は人手不足の環境下において、従業員の基本スキルUPによる既存業務から新しい業務への従業員の配置転換やDXへの適応など、リスキリングを通して新たな価値創造につなげることが必須となっています。商工会議所では、簿記検定をはじめとした検定制度を整備し、地域の経済人材の育成を担ってまいりました。企業のリスキリングに向けた取組みが注目されるいま、商工会議所の検定制度を通して従業員のリスキリング支援による新たな価値創造の土台形成を図っていきましょう。

商工会議所の検定制度

日商簿記

簿記は、企業の経営活動を記録・計算・整理して、企業の経営成績と財政状態を明らかにするスキルです。簿記のスキルで財務諸表を見れば企業活動を把握できることから、あらゆる業種のビジネスマンに必要な不可欠なビジネススキルです。また原価計算初級など即座に業務に活用できる知識の習得も図ることができます。

1級	極めて高度な商業簿記・会計学・工業簿記・原価計算を修得し、会計基準や会社法、財務諸表等規則などの企業会計に関する法規を踏まえて、経営管理や経営分析を行うために求められるレベル。合格すると税理士試験の受験資格が得られる。公認会計士、税理士などの国家資格への登竜門。
2級	経営管理に役立つ知識として、企業から最も求められる資格の一つ。高度な商業簿記・工業簿記(原価計算を含む)を修得し、財務諸表の数字から経営内容を把握できるなど、企業活動や会計実務を踏まえ適切な処理や分析を行うために求められるレベル。
3級	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが身に付けておくべき「必須の基本知識」として、多くの企業から評価される資格。基本的な商業簿記を修得し、小規模企業における企業活動や会計実務を踏まえ、経理関連書類の適切な処理を行うために求められるレベル。
簿記初級	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが日常業務をこなすための基礎知識。簿記の基本用語や複式簿記の仕組みを理解し、業務に活用することができる。
原価計算初級	業種・職種にかかわらずビジネスパーソンが事業の収益性を把握するための基礎知識。原価計算の基本用語や原価と利益の関係を分析・理解し、業務に活用することができる。

TOPICS

商工会議所会員向け リスキリングサービス 3級 e-ラーニング

当所では、会員事業所の福利厚生サービスの一環としてご利用いただける様、簿記検定試験3級のeラーニングを無料で実施しています。参考書や書籍だけではわかりにくい箇所も、WEB講義を視聴することで理解を深めることが可能です。また、eラーニングのため、自分のペースで視聴することができるのももちろん、費用の負担なく学習していただけます。詳細とお申し込みは、QRよりご確認ください。



簿記検定 団体試験制度

簿記検定試験の普及促進を目的に、企業・学校に出張して試験を施行する「団体試験制度」を実施しています。2級・3級のみ実施可能で、最少催行人数は2級・3級併せて20名以上からです。詳細は、検定担当者まで直接お問い合わせください。(TEL: 058-264-2134)

